

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	消化器内視鏡学 Digestive Endoscopy	DM_1410	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	--------------------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
—					
—					
溝口		◎土井 晋平		網島 弘道 松本 光太郎	安田 一郎 (客員教授)

	消化器内視鏡学Ⅰ (1年次)				消化器内視鏡学Ⅱ (2年次)				消化器内視鏡学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	日本消化器内視鏡学会指導医による上部・下部消化管内視鏡診断・治療学についての講義を受けるとともに、実地臨床の場で上部・下部消化管の内視鏡診断・治療における基本的な技術(特殊光・拡大観察、色素観察、生検、止血手技など)について学び、これらの手技の習得に努める。 また、病理カンファレンス、外科カンファレンスにおいて当該疾患に対する知識を深め、診断・治療体系についての総合的な理解を深める。				超音波内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)およびこれに関連した診断・治療手技、内視鏡的粘膜下層剥離術などの発展的な内視鏡診断・治療学についての講義を行う。 さらに実地臨床の場でこれらの手技を指導医が行う際の介助を行うとともに、指導医の監視下で自身でも手技を行い、技術の習得に努める。 さらに採取検体の処理についてもその理論的背景を理解し、知識を深める。				超音波内視鏡ガイド下穿刺術、ならびにこれに応用した治療手技、上・下部消化管の希少疾患に対する診断・治療手技についての講義を行い、消化器内視鏡学に関する知識を全般にわたって深める。 また、上・下部消化管内視鏡のスクリーニング検査のみならず精査法、治療手技、超音波内視鏡およびERCP関連手技についても一通りの手技を習得し、さらにそれらの発展的な手技についても指導医の介助のもと自分自身で行えるレベルにまで到達することを目標にする			
到達目標	上・下部消化管内視鏡検査を行うことができ、適切な診断、報告書の作成ができる。				内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)およびこれに関連した基本的な診断・治療手技を行うことができ、適切な診断・治療ならびに報告書の作成ができる。 超音波内視鏡検査(EUS)を行うことができ、適切な診断ならびに報告書の作成ができる。				上・下部消化管内視鏡検査、ERCP、EUSに応用した診断・治療手技を理解でき、その介助ならびに上級医の監督下での施行、検査報告書の作成ができる。			
事前事後学修	次回の授業範囲を教科書で30分予習し、授業後は履修範囲を教科書で30分復習する。				次回の授業範囲を教科書で30分予習し、授業後は履修範囲を教科書で30分復習する。				次回の授業範囲を教科書で30分予習し、授業後は履修範囲を教科書で30分復習する。			
評価方法	受講態度 80% レポート 20%				受講態度 80% レポート 20%				受講態度 80% レポート 20%			

■主な演習(講義・実習含む)

	消化器内視鏡学Ⅰ (1年次)	消化器内視鏡学Ⅱ (2年次)	消化器内視鏡学Ⅲ (3年次)
一	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
二	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
溝口	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 内科外科カンファレンス	火 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00 内科外科病理カンファレンス	水 曜日 13 : 30 ~ 17 : 00 ESD
	月 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 上・下部消化管内視鏡検査	水 曜日 9 : 00 ~ 12 : 00 EMR	木 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00 内視鏡的粘膜下層剥離術
	金 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00 上・下部消化管、膵・胆道疾患の内視鏡診断	水 曜日 18 : 00 ~ 20 : 00 上・下部消化管、膵・胆道疾患の内視鏡診断	金 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00 消化器カンファレンス

教科書・参考書

消化器内視鏡ハンドブック改訂第2版(日本消化器内視鏡学会監修、日本メディカルセンター、2017年)、消化器病診療第2版(日本消化器病学会監修、医学書院、2014年)

その他履修上の注意事項

大学院入学前に日本消化器内視鏡学会へ入会し、各年次最低1回は学会に参加して発表を行うこと。また、3年次までに最低1回は学会セミナーに参加すること。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目 副科目 消化器系以外の内科学系、放射線診断学・放射線腫瘍学、生理学系、人体病理学・病理診断学

共通科目 消化器疾患特論(必修)

関連する専門医資格

消化器病専門医(日本消化器病学会): <http://www.jsge.or.jp/member/nintei/kisoku/kisoku.html>
消化器内視鏡専門医(日本消化器内視鏡学会): <http://www.jges.net/seido/seidokisoku.html>

キャリアパス(モデルコース)

